

第1章 計画策定にあたって

1 新総合体育館整備の背景

常陸太田市山吹運動公園市民体育館は、昭和52年7月に建設され、市民のスポーツ活動の中心拠点として、年間約45,000人と多くの市民に利用されています。



しかしながら、建設から既に40年以上が経過したことによる老朽化やバリアフリー未対応などの課題も多く、令和2年3月に策定した常陸太田市スポーツ施設整備計画において、最優先で更新（建替え）を図る必要があるとの方向性を示しました。

また、スポーツを「する」ことはもちろん、スポーツを「みる」ことの感動、スポーツを「ささえる」活動への参画など、多様化するスポーツのニーズに応えるため、新総合体育館を整備することとしたところです。

これらの背景を踏まえ、令和2年度に新総合体育館の整備に向けての基本コンセプトや整備方針、諸室の規模や機能などを具体的に示すことを目的とした「常陸太田市新総合体育館整備基本計画」を策定しました。

※総合体育館とは、一般的にアリーナ（競技場・観覧席）、多目的室、トレーニングルームなど、複数の機能を備えた屋内スポーツ施設の総称をいいます。

第2章 市民体育館の現状と市民ニーズ

1 市民体育館の現状

市民体育館は、老朽化やバリアフリーの課題のほか、次のような課題が挙げられています。

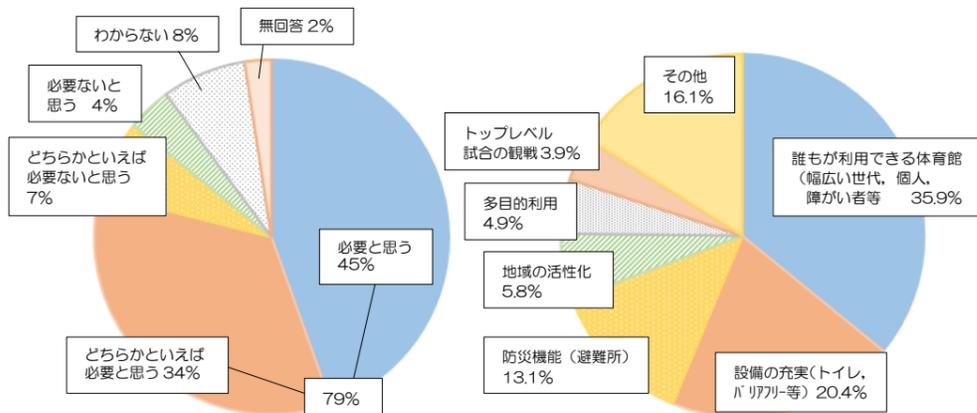
- ・トイレの基数が少ない
- ・空調設備がない
- ・アリーナが狭い
- 等

2 市民ニーズ

令和2年10月に市民や体育館利用団体等を対象にアンケート調査を実施したところ、新しい体育館整備の必要性について、約80%の方が「必要」「どちらかといえば必要」との回答がありました。

〔新総合体育館整備の必要性〕

〔新総合体育館に望むこと〕



第3章 基本コンセプト・整備方針

新しい総合体育館は、子どもから高齢者、障がいのある方、人数を問わずなど市民の誰もが気軽にスポーツや健康づくりを楽しむことができ、また、市の新たな交流拠点となるよう次のとおり基本コンセプト・整備方針を定めます。

1 基本コンセプト

「誰もが 気軽に スポーツを楽しみ 夢を育み 賑わいが生まれる スポーツアリーナ」

2 整備方針

整備方針1 市民の誰もが利用でき、すべての人にやさしい体育館

市民の誰もが使いやすく安全・安心な体育館となるように、ユニバーサルデザインを取り入れ、高齢者や障がい者への配慮をはじめ、すべての人にやさしい体育館とします。

また、スポーツを「する人」はもとより、スポーツを「みる人」も「ささえる人」もそれぞれのスタイルで楽しむことができる体育館とします。

- ・子どもから高齢者まで利用できる体育館
- ・ユニバーサルデザインに配慮した体育館
- ・スポーツを「する人」「みる人」「ささえる人」に配慮した体育館

整備方針2 人が集い、交流拠点となる体育館

スポーツ大会はもちろん、様々なイベントを開催することで、市民同士、市民と市外の人々との交流を盛んにし、交流人口の拡大を図ることで、賑わいや活気にあふれる体育館とします。

- ・スポーツ活動を通じた市民の交流をささえる体育館
- ・様々な集会やイベントに利用できる体育館

整備方針3 トップレベルの大会等※に対応する体育館

これまで本市では観ることができなかったトップレベルの大会等を開催することで、スポーツの素晴らしさや感動を実感し、特に、子どもたちが自らの夢や目標を育む場となる体育館とします。

- ・トップレベルの大会などの開催により子どもたちの夢を育む体育館

※トップレベルの大会等とは、プロや実業団、大学等の大会や、プレ大会、練習試合、練習そのもの、また、高校の県大会などの誘致を想定しています。

第4章 体育館整備計画

市民ニーズや第3章で述べた基本コンセプト・整備方針を踏まえた諸室と規模は、次のとおりです。

1 延べ床面積

区分	諸室	想定延べ床面積
スポーツ施設	メインアリーナ（1,800㎡程度） ・バスケットボール2面 ・バレーボール3面 ・卓球12面 ・バドミントン10面	4,100㎡程度
	観覧席（2階固定席1,000席程度） ※メインアリーナ1階に可動席500席程度を設置	
	サブアリーナ（840㎡程度） ・バスケットボール1面 ・バレーボール1面 ・卓球6面 ・バドミントン4面	
	多目的ルーム（分割可：会議室、ダンス、ヨガ等） トレーニングルーム	
附帯施設	応接室、放送室、医務室	2,300㎡程度
	選手更衣室（2室）	
	更衣室（男女各1室）	
	身障者用更衣室（男女各1室）	
	トイレ（男女各6室程度）	
	多目的トイレ（4室程度）	
	授乳室（4室程度）	
	事務室	
	器具庫	
	エントランス、ラウンジ、売店等	
防災倉庫		
機械室等		
共用部	廊下、階段、エレベーター等	400㎡程度
計		6,800㎡程度

2 必要設備

大型ビジョン	・大型ビジョン等
照明設備	・各スポーツ施設に競技に必要な照度（1,500ルクス以上） ・LED照明
空調設備	・全室配備 ・メインアリーナは競技影響のない方式 ・各施設ごとの単独運転
音響設備	・館内一斉放送、各施設ごとの単独放送 ・メインアリーナの壁面を吸音壁
バリアフリー	・段差解消 ・手すり ・エレベーター ・点字ブロック ・音声案内 ・絵文字案内等

第5章 体育館配置計画

新総合体育館は、現市民体育館同様、山吹運動公園内に配置します。

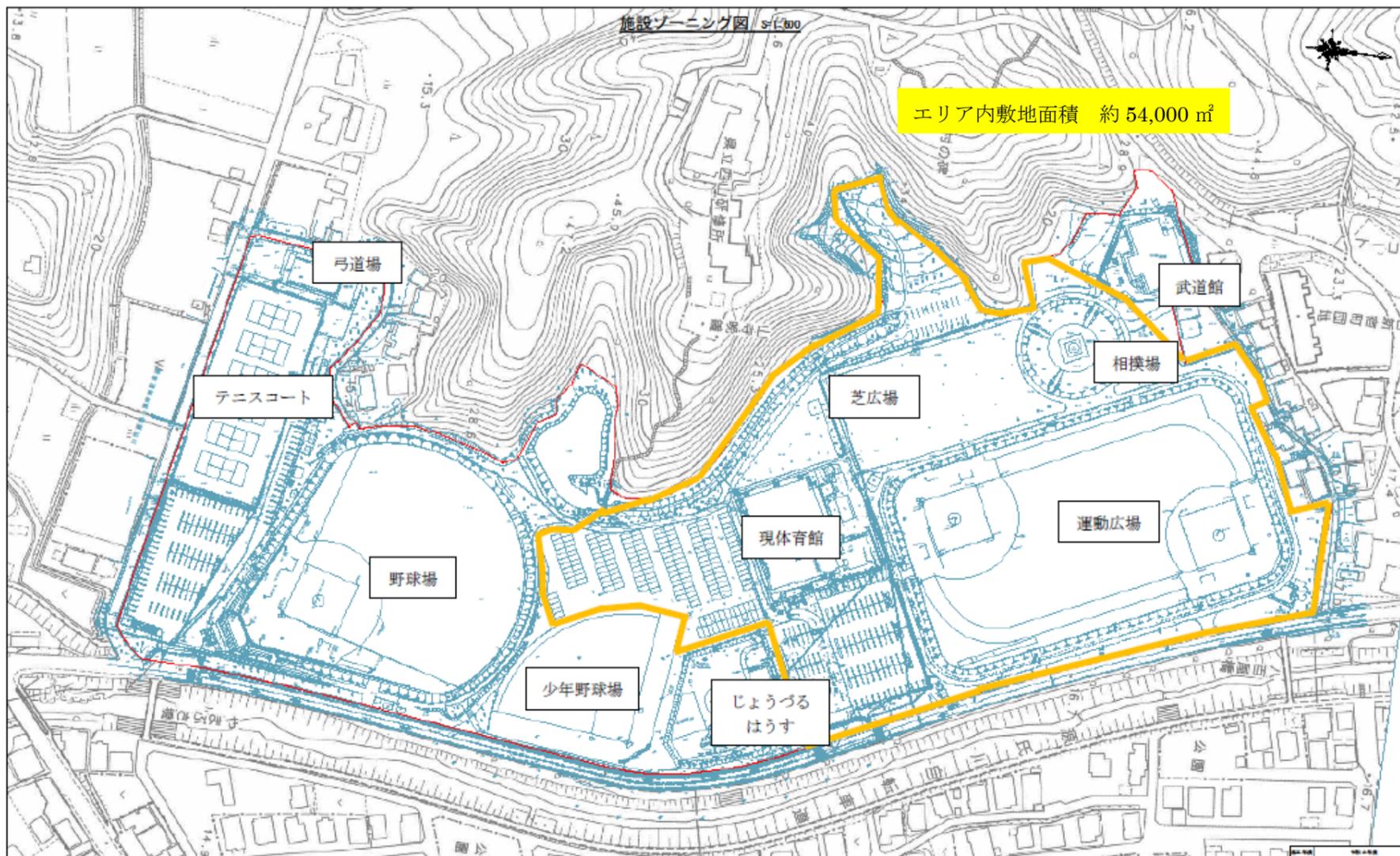
延べ床面積 6,800 m²程度のうち 1 階床面積を約 5,500 m²程度とし、体育館外周に避難経路（外階段）の設置を含め、必要面積を約 8,700 m²程度と想定します。

配置計画

- 現体育館、駐車場、運動広場、芝広場等の北側エリア（下面図 黄色枠内）への配置とします。
- 具体的には基本設計業者を選定するプロポーザル方式の技術提案の中で、既存施設の再配置を含め、より土地の有効活用が図られ、かつ合理的な配置を参考にします。

【配置計画図】

- エリア内に駐車場のほか、多目的運動広場やランニングコースの整備を計画します。
- 敷地内のメイン出入口の安全性の確保や北側住宅地の日照等を考慮した計画とします。



〔山吹運動公園の概要〕

- 住 所 常陸太田市新宿町1番地
- 敷地面積 98,878m²
- 用途地域 第一種低層住居専用地域
※準工業地域に変更予定
- 建ぺい率 60%
- 容積率 200%

第6章 概算事業費と財源

1 概算事業費

新総合体育館に係る現段階での概算事業費を約46億円と見込みます。今後の設計段階において、必要機能等を確保しつつ、詳細に検討してまいります。

費 目
①本体工事費（新総合体育館）
②外構工事費等（駐車場整備等）
③解体工事費（既存体育館）
④設計委託費等（基本・実施設計、地質調査等）
⑤備品購入費

2 財源

概算事業費約46億円に対する財源として次の交付金等を活用し、市一般財源の負担軽減に努めます。

交付金等
①社会資本整備総合交付金
②地方創生拠点整備交付金
③合併特例債
④森林環境譲与税
⑤まちづくり振興基金（市基金）

第7章 実現に向けて

1 管理運営方針

新総合体育館では、施設規模の拡大やこれまで整備されなかった空調設備等を備えることで光熱水費などの維持管理費が大幅に増えることが想定されます。

指定管理者制度による導入による民間ノウハウの活用や、自然採光や自然換気、太陽光発電の設置など環境への負荷の少ない設備等を積極的に行うことで維持管理費の縮減を図り、持続可能な管理運営に努めます。

2 整備スケジュール

令和3年度	基本設計（～令和4年度）、地質調査
令和4年度	実施設計（～令和5年度）
令和5年度	既存体育館の解体工事 ※配置提案場所によって変更あり
令和6年度	本体工事（～令和8年度）
令和8年度	外構工事
令和9年度	供用開始

